

令和元年度(2019) 水道事業会計決算概要

1. 概況

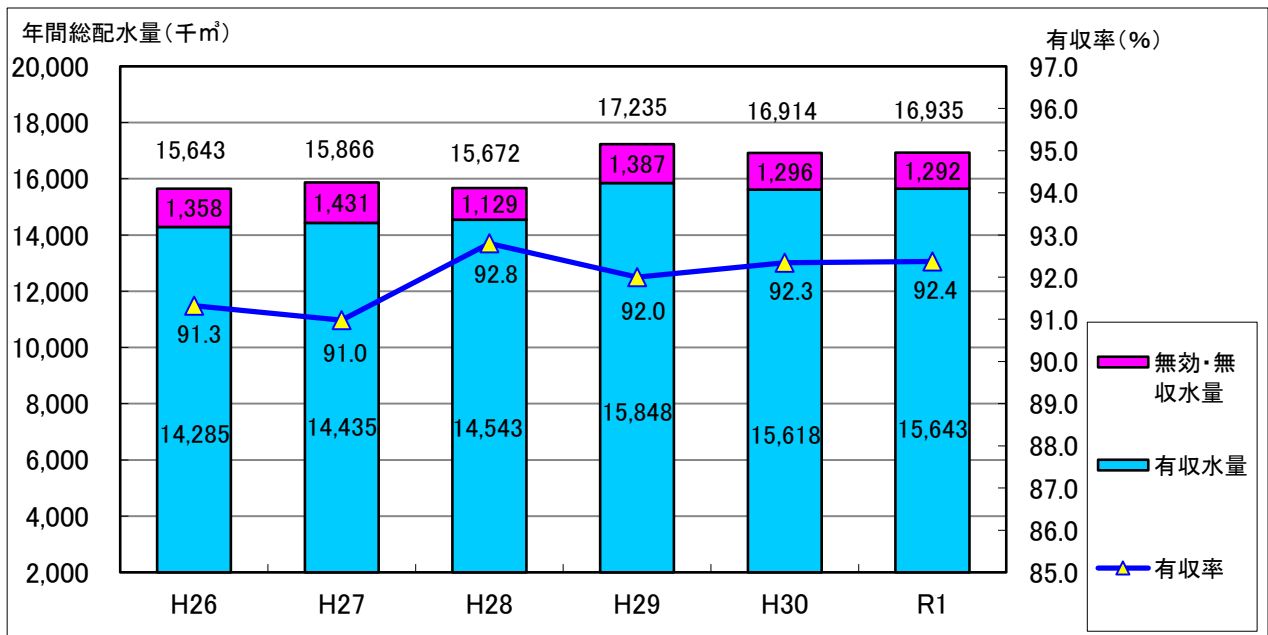
令和元年度は、「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」を基本理念とする出雲市水道事業ビジョンに基づき、引き続き施設の更新や耐震化等の取組を進めました。

業務面では、給水戸数は前年度より増加しましたが、給水人口は前年度より減少しました。年間総配水量及び年間総有収水量は、うるう年の影響で前年度よりわずかに増加しましたが、一日平均配水量は前年度より減少しており、使用水量の減少傾向は続いています。

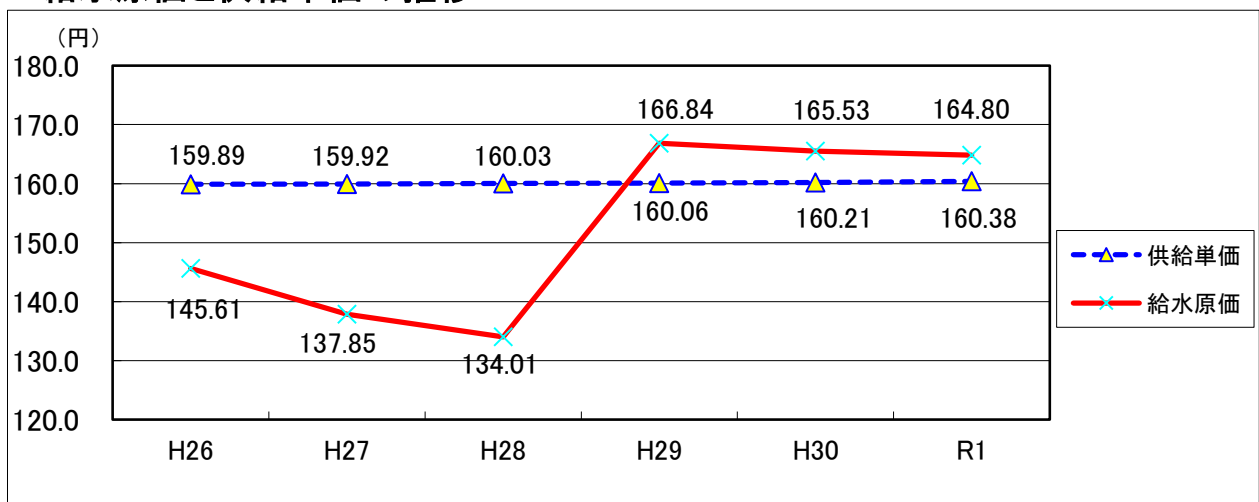
また、施設面では、老朽化した施設の更新や耐震化を推進する一方、安定した水源確保のため、来原系の水源調査や出雲北部地域の水運用計画の策定に着手しました。

区分	令和元年度決算	平成30年度決算	増減
給水戸数(戸)	55,721	55,477	244
給水人口(人)	143,552	144,407	△ 855
年間総配水量(m ³)	16,934,751	16,913,517	21,234
年間総有収水量(m ³)	15,642,993	15,617,536	25,457
一日平均配水量(m ³)	46,270	46,338	△ 68

2. 年間総配水量と有収率の推移



3. 給水原価と供給単価の推移



※ 供給単価＝給水収益／年間総有収水量
給水原価＝(給水費用－長期前受金戻入)／年間総有収水量

4. 収益的収入及び支出

(単位:千円 税抜)

区 分	令和元年度 決算	平成30年度 決算	平成29年度 決算	令和元年度決算と 平成30年度決算と の差
水道事業収益	3,291,928	3,252,174	3,268,307	39,754
営業収益	2,671,024	2,632,545	2,636,949	38,479
水道料金	2,508,837	2,502,051	2,536,636	6,786
受託工事収益	88,734	81,448	17,660	7,286
原因者負担金ほか	73,453	49,046	82,653	24,407
営業外収益	620,862	618,194	631,356	2,668
加入金	94,030	82,410	82,990	11,620
長期前受金戻入ほか	526,832	535,784	548,366	△ 8,952
特別利益	42	1,435	2	△ 1,393
水道事業費用	3,119,571	3,089,842	3,087,226	29,729
営業費用	2,869,491	2,825,045	2,802,524	44,446
職員給与費	307,959	316,494	315,184	△ 8,535
動力費	212,358	214,695	200,785	△ 2,337
薬品費	24,303	24,770	22,649	△ 467
修繕費	123,017	132,287	182,958	△ 9,270
減価償却費	1,518,333	1,501,446	1,498,159	16,887
資産減耗費	48,553	36,547	44,095	12,006
受託工事費	122,265	85,842	22,619	36,423
材料費	18	258	0	△ 240
委託料ほか	512,685	512,706	516,075	△ 21
営業外費用	249,499	260,062	284,241	△ 10,563
支払利息	200,987	216,721	230,887	△ 15,734
その他営業外費用	48,512	43,341	53,354	5,171
特別損失	581	4,735	461	△ 4,154
営業利益	△ 198,467	△ 192,500	△ 165,575	△ 5,967
純利益	172,357	162,332	181,081	10,025

収入は3,291,928千円、支出は3,119,571千円となり、収入支出差引で172,357千円の純利益となりました。

前年度と比較すると、収入は、加入金や受託工事収益の増加などにより39,754千円の増額となり、支出は、受託工事費の増加などにより29,729千円の増額となりました。この結果、純利益は前年度より10,025千円の増額となりました。

5. 資本的収入及び支出

(単位:千円 税込)

区 分	令和元年度 決算	平成30年度 決算	平成29年度 決算	令和元年度決算と 平成30年度決算と の差
資本的収入	837,272	888,884	881,668	△ 51,612
企業債	300,000	300,000	300,000	0
国庫支出金	17,629	11,459	21,366	6,170
工事負担金	53,730	135,190	134,555	△ 81,460
他会計負担金	12,282	12,537	21,481	△ 255
他会計繰入金	453,631	429,698	404,266	23,933
資本的支出	2,221,955	2,885,776	2,235,316	△ 663,821
建設改良費	1,395,015	2,094,255	1,483,622	△ 699,240
拡張事業	69,426	395,282	288,273	△ 325,856
改良事業	1,325,589	1,698,973	1,195,349	△ 373,384
(建設改良費の内訳)				
工事請負費	1,107,518	1,857,681	1,275,548	△ 750,163
職員給与費	99,113	96,034	102,514	3,079
委託料ほか	143,106	128,359	43,985	14,747
土地購入費	1,340	212	2,031	1,128
給水施設費ほか	43,938	11,969	59,544	31,969
企業債償還金	826,940	791,521	751,694	35,419
収支不足額	△ 1,384,683	△ 1,996,892	△ 1,353,648	612,209

収入は837,272千円、支出は2,221,955千円となり、収入支出差引で1,384,683千円の収支不足となりました。

前年度と比較すると、収入は、工事負担金の減少などにより、51,612千円の減額となりました。支出は、工事費の減少により663,821千円の減額となりました。この結果、収支不足額は前年度より612,209千円の減額となりました。

なお、不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填しました。

【拡張事業】

主なものとして、「白枝町須山木材付近配水管布設工事」「上島水源地第2-2揚水試験井築造工事」「上島水源地第2取水井電気設備改良工事」など総額工事費34,761千円で実施しました。

【改良事業】

主なものとして、「今市町外県立出雲高校南配水本管及び配水管布設替工事」「大津町新向山配水池SUS内張工事」「浜町浜ポンプ場電気設備更新工事」など総額工事費1,072,756千円で実施しました。

6. 留保資金残高

(単位:千円)

財源内訳	H30年度末残高	R元年度中増加額	R元年度中減少額	補てん額	R元年度末残高
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	1,488,770	162,332	0	79,664	1,571,438
損益勘定留保資金	50,001	1,195,358	50,001	1,195,358	0
過年度損益勘定留保資金	0	50,001	0	50,001	0
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	0	59,660	0	59,660	0
当年度純利益	162,332	172,357	162,332	0	172,357
合計	1,701,467	1,639,708	212,333	1,384,683	1,744,159
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	46,238				45,708
留保資金残高	1,655,229				1,698,451

令和元年度末の留保資金残高は、資本的収支の収支不足額を補てんした結果、1,698,451千円となりました。

前年度と比較すると、工事費の減少により、資本的収支における収支不足額が減少したため、前年度より43,222千円の増額となりました。

